

令和7年度 事務事業マネジメントシート				段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価				2300		市場利活用促進事業					農商工部		総合地方卸売市場管理事務所	
1 事業概要				中事業番号		1387									所属コード		269000	
政策体系				SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X推進	手段		意図（目的）			
大綱（取組）		I「産業・仕事の未来」		17.17	○					○	○	○	○	遊休地の利活用や効率的な維持管理など施設の有効活用について検討するとともに、夏休みたんけん隊や料理教室の実施、物販イベント実行委員会への参画・支援等により、市民を対象とした市場活用のためのイベントを実施する。			郡山市総合地方卸売市場の健全かつ適正な運営に向けた改善等に取り組み、施設の安定的かつ効率的な運営を図るとともに、生鮮食料品等の流通拠点としての役割を広く市民に周知し理解を得る。	
施策		1 みんなが誇れる「郡山といえばこれ！」という産業があるまち																

事業開始時周辺環境（背景）		現状周辺環境		今後周辺環境（予測）		住民意向分析	
全国的な動向として、多くの卸売市場で取扱高が減少する傾向にあり、地方卸売市場にあっては運営の効率化や公設施設としての役割への理解が求められる中、本市市場においても、今後のあり方についての検討が必須となっていた。		2020(令和2)年6月の改正卸売市場法施行による取引規制が大幅に緩和された。従来からの流通・消費者ニーズの多様化に加え、ウィズコロナ・ポストコロナによるニューノーマルの進展により、流通構造の大きな変化に対応し、安全・安心な生鮮食料品等を安定供給する流通拠点機能の強化と市場の持続的な運営の確保が求められている。		少子高齢化・人口減少による消費・生産人口の縮小、ウィズコロナ・ポストコロナにおけるニューノーマルの進展、D X・G Xの加速、流通構造(2024年問題)の変革により、これまでの生鮮食料品等の流通拠点としての役割に加え、D X等による事業の効率化・販路拡大・販売力の強化等に向けた新たな発想による卸売市場の活性化や持続的な市場経営のほか、カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けたG X推進が求められる。		市民生活に欠かすことのできない生鮮食料品等を安定的に供給している公設の地方卸売市場であることから、健全な市場経営が望まれている。 また、身近にある"食"の情報発信施設として、市民に開かれた施設としての利活用が期待されている。	

2 事業進捗等（指標等推移）					まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度		中間指標	最終指標
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	2021年度	2025年度
対象指標	市民	人		324,586		322,515		319,680										
活動指標①	市民を対象とした物販イベントの開催回数	回	12	1	1	1	1	1	1	1	1			1				
活動指標②	市場利活用イベント（たんけん隊・料理教室等）の開催数	回	4	4	4	4	4	5	4		4			4				
活動指標③	～R5ドライブスルー市場の開催回数	回	40	47	24	11												
成果指標①	～R4朝市の来場者数/R5ドライブスルー市場の利用件数/R6～物販・利活用イベントの参加者数	人	60,000	1,000	700	218	1,580	12,080	8,000		8,000			8,000		8,000		8,000
成果指標②	～R2市場利活用イベント（たんけん隊・料理教室等）の参加者数/R3～市場活性化補助金活用事業者数	事業者	5	9	9	8	7	7	7		7			7		7	3	7
成果指標③	用地等活用事業の実施件数	件		1	1	0	1	1	0		0			0		0		
単位コスト（総コストから算出）	物販・利活用イベント来場者1人あたりのコスト	千円		0.70		1.75		2.0	0.16		0.16			0.16		0.16		
単位コスト（所要一般財源から算出）	物販・利活用イベント来場者1人あたりのコスト	千円		0		0		0	0		0			0		0		
事業費		千円		6,342		2,457		4,507	4,800		4,800			4,800		4,800		
人件費		千円		15,957		18,543		20,052	18,543		18,543			18,543		18,543		
歳出計（総事業費）		千円		22,299		21,000		24,559	23,343		23,343			23,343		23,343		
国・県支出金		千円																
市債		千円																
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円																
その他		千円				2,457		4,507	23,343		23,343			23,343		23,343		
一般財源等		千円		22,299		18,543		20,052	0		0			0		0		
歳入計		千円		22,299		21,000		24,559	23,343		23,343			23,343		23,343		
集計区分			評価結果	拡充	継続	継続	継続	拡充	継続									

活動指標分析結果		成果指標分析結果		総事業費（事業費・人件費）分析結果	
①2024(令和6)年10月27日に「市場まつり」を開催し、約11,000人の来場者があった。②「こどもまつり連携イベント」の抽選会と市場見学に合わせて968人、「夏休み市場たんけん隊」に小学生・保護者39人、「市場料理教室」に小学生・保護者22人、「大人のスイーツ作り教室」に15人、「フラワーアレンジメント教室」に小学生・保護者36人がそれぞれ参加した。各イベントとも予定人数を超える参加申し込みがあり、今後も継続して実施し、土産・青果・花きの消費拡大を目指していきたい。③「ドライブスルー市場」は、2023(令和5)年6月24日(土)に終了した。その他、魚の簡単レシピを市ウェブサイトとインフルエンサのSNSで公開し、約3,600いいねを獲得した。		①「市場まつり」を、水産棟・管理関連店舗に加えて青果棟でも開催し、ラジオの生中継なども行ったことにより、入場者が約2,500人(約30%)増と大幅に増加した。②2021(令和3)年度に創設したD X推進補助金を、2022(令和4)年度から事業効率化等事業者支援も加えたニューノーマル補助金とし、2024(令和6)年度は7件、2,752千円の補助を行った。入場業者のD X化、事業効率化に一定の効果があったことから、2025(令和7)年で終了する予定。③用地利活用は、2023(令和5)年度に達成を行い、2024(令和6)年度に公募を実施し、3社(同一の企業グループ)が利用を開始した。		【事業費】 ・ニューノーマル補助金の交付拡大による増(920千円) ・市場まつり負担金の増(867千円) ・イベント数増による講師謝礼等の増(263千円) 【人件費】 ・会計年度任用職員の手当増(1,085千円) ・イベント数および非管理職員の増による超過勤務手当増(424千円)	

3 一次評価（部局内評価）

事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		3
2 公平性		4
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		3
5 成果指標（目的達成度）		3

1 規模・方法の妥当性
2 公平性
3 効率性
4 活動指標（活動達成度）
5 成果指標（目的達成度）

（2）事業継続性評価



継続	一次評価コメント
	生鮮食料品等を安定的に供給する卸売市場の役割を市民に周知するため、市場組合や入場業者と連携して「市場まつり」を開催した。前年に引き続き物販や各種イベントを行ったほか、新たに青果棟でも開催したことでも来場者が大幅に増加した。こどもまつり(カルチャーパークにて開催)の連携イベント「夏休み市場たんけん隊」、「市場料理教室」、「フラワーアレンジメント教室」のほか、「大人のスイーツ作り教室」を新たに開催した。また、「魚の簡単レシピ」をウェブ公開し、インフルエンサーによるSNSで発信してもらうことにより、魚食拡大と取引活性化に努めた。入場業者の競争力及び市場全体の取引活性化を図るためのニューノーマル補助金で、D X推進や事業効率化等を支援するとともに、造成した未利用地を物流業者に貸付して新たな財源を確保し、安定的な市場経営に努めている。

5レシ	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）
			○	○	

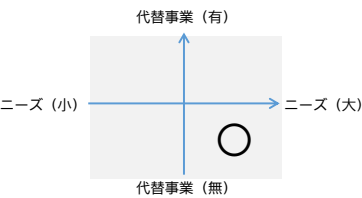
気候変動対応	D X（デジタル市役所）	部局間協奏
	○	○

4 二次評価

（1）事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		3
2 公平性		4
3 効率性		3
4 活動指標（活動達成度）		4
5 成果指標（目的達成度）		4

1 規模・方法の妥当性
2 公平性
3 効率性
4 活動指標（活動達成度）
5 成果指標（目的達成度）

（2）事業継続性評価



継続	二次評価コメント
	令和6年度は、物販イベントとして市場まつりを計画どおり開催するとともに、市場利活用イベントとして前年度同様の4件のイベントに加え、新たに大人のスイーツ作り教室を開催する等、市場を利活用したイベントを工夫して実施したことで、計画を大きく上回る参加者を得ることが出来た。また、入場業者にに対し、D X、事業効率化等の事業者支援を目的としたニューノーマル補助金を交付することで、D X、事業効率化を図ったほか、令和5年度に造成した用地の公募を行い、3社が利用を開始することとなり、これまでに貸出をしている用地を含め、施設全体を利活用し、事業費確保にも取り組んでいる。 今後においても、郡山市総合卸売市場の利活用を促進し、市場経営の効率化・健全化を図るため、継続して事業を実施する。

（参考）令和6年度カイゼンのための行動計画	